

市民自らの政策を持とう！

第30回個人演説会（意見発表会）記録

日時 2016年5月14日（土） 13:30-16:00

場所 市民政党「草の根」新事務所

参加者 9名

この記録はホームページとブログに掲載されます。

<http://www.seisaku1341motou.sakura.ne.jp>

<http://blog.goo.ne.jp/simin13401seisaku>



「従軍慰安婦」問題をどう考えるべきか

藤村英子（周防大島町）

金学順さん達に会って

私が慰安婦問題を知ったのは1977年、毎日新聞社から発行された『1億人の昭和史』の記事「“日本陸軍が開設した”慰安所」を読んだ時です。その時は、ああそんなものがあったのか、というぐらいの気持ちでした。

その後、「沖縄を学び、平和を語る会」の主催で、戦跡を訪ねて、韓国や沖縄、台湾、中国等へ行き、実際に被害者から証言を聞きました。

「戦争にはこんな悲劇がつきものです。私達が死んだらこの事実が埋もれてしまう。二度と戦争しない為にも、私達は初めて公開し、日本政府に訴えました。その時日本政府は、民間がやったことだと嘘を言ったので、あえて裁判に訴えたのです」と言われました。5名の方々は、初めはつとめて冷静に話そうとするのに、当時のことを思い出し、たまらなくなって号泣しながらの証言でした。

5人の方は、みな身体に傷がありました。それは、純潔は命より大切だったので、抵抗した為に、つけられたそうです。骨を折られ、手が曲がったり、火傷の跡、切り傷の跡がありました。これは私達だけでなく、みんなこんな目にあっただと言われました。

どのようにして拉致されたか

「工場で働けば10円になる。親にも仕送りが出来る」と騙したのです。これを日本の一部の人は、金につられた商行為だったと言うのです。はじめは軍自らが拉致していたが、評判が悪くなったので、民間にやらせたのです。軍が後ろ盾になって。またある人は、無理矢理だったのです。(横田めぐみさん同様)

日本の加害に対する安倍さんの姿勢

安倍さん(安倍晋三首相)は「強制」ではなかったと言いますが、それは国際社会には通用しないですね。日本という国は面子にこだわるから、交渉は個人よりも国と国で、被害者がどんな苦しい目にあっただかということに視点が向かないのです。補償も被害者個人にではなく、国にたいして行うのです。

国の誇りとか面子を重んずる政府は、こういう問題が起きると、今「自虐史観」を唱え、事実を歪曲するのです。美しい日本、誇りある日本を強調する安倍さんにとっては、昔のまま、侵略戦争も平和のため。慰安婦問題で拉致など肯定したくないのです。

「教科書に真実を」と、32年間にわたる家永裁判の闘いの結果、やっと日本による加害の事実が教科書に載るようになれば、「新しい歴史教科書をつくる会」を立ち上げて、安倍さんや藤岡信勝さん達が反対するのです。

安倍さんはNHKにまで圧力をかけるのです。安倍さんが官房長官だった2001年、NHK ETB特集で、「問われる戦時性暴力」の番組が、安倍さんの圧力で改変させられたのです。

これは当時チーフ・プロデューサーだった長井さんという方が、のちに告発したため分ったのです。同じくチーフ・プロデューサーだった永田浩三さんも、「慰安婦のことを思うと、そんなことはできないと」泣いて抗議をしたのですが、放送直前になって、二度も改変させたのです。NHKも安倍さんに呼びつけられて、圧力に屈し、こちらから出向いて改変したことにしよう等、内部であったようです。

私はその事実を知った時から、受信料を払うのを止めました。「あの番組を元通りに放映してくれたらいつでも払いますよ」と言っているのです。

この番組をつくったパウネット・ジャパンは、訴訟して勝訴しました。

慰安婦問題の訴訟

慰安婦問題については、あちこちで訴訟を起こしていましたが、日本の裁判ではすべて却下です。それは、時効とか、国家無答責という理由です。これは1965年に日韓請求権協定で、日本が金を払い、今後補償を要求しないという条件つきでした。しかしこの時は、従軍慰安婦のことは知られてない時でした。

慰安婦問題に対し、国際社会では

加害の事実は国際法違反のものが多く、特に従軍慰安婦問題は拉致・監禁・性奴隷等、何重にも国際法違反です。だから終戦時、加害の証拠は全部焼き捨てたのです。でも、や

はり資料はあるのです。生き証人もいます。資料は、吉見義明氏が防衛庁図書館で見つけたのです。また中曽根さん（中曽根康弘元首相）も自分が慰安所を造ったということをおっしゃっています。

日本がこんなことをする根底に、中国や韓国を蔑視しているということがあると思うのです。私も子どもの頃、中国は支那のチャンコロ、韓国は朝鮮モンゴルと言っていました。こういう教育を受けていたのです。

今国際社会は慰安婦問題について、謝罪せよと、米国だけでなく、東南アジア諸国、ヨーロッパまで議会決議をしているんです。安倍さんがアメリカで慰安婦は強制ではなかったとか、また桜井よしこ等と一緒にあって、広告を出したりした為、反感を買ったのです。国際社会には通用しないのです。

少女像

ソウルの日本大使館前に設置された、慰安婦を象徴する少女像のことですが、日本は不快感を示して、事ある毎に撤去せよと言っています。そこがドイツとの違いですね。加害の事実をきちんと残すのと、隠蔽するのと。日本政府のすることに反発がおこり、いま米国他、各地にこの少女像が建てられるようになりました。

私はこの像が出来た時、首相に少女像のまえて額づいてほしいと思いました。向こうが建てたものを撤去せよなんて、盗人猛々しい気がします。

民間人の努力

政府の態度に対し、一方民間では、総理になり代わって、加害の事実を認め、贖罪し、日中・日韓友好に貢献している人たちもいます。

私が知っている人で、野添憲治さんという人と、福政康夫さんという人がいます。野添さんは秋田県の方で、中国・韓国にたいする日本の加害の事実を丹念に調べて、本にしている方です。今でも「朝鮮人強制連行真相調査団」をつくって、毎年被害者のため、慰霊祭を行っています。

また中国人を拉致して秋田県花岡鉱山で働かせ、多くの犠牲者を出した花岡事件や、中国から北海道の炭鉱に拉致した劉連仁さんのことを書いた本は翻訳され、中国では主席まで出席し、2日間にわたって出版祝いをしてくれたそうです。

劉連仁さん

北海道の炭鉱に拉致された劉連仁さんは、終戦も知らず、北海道の原野で13年間生き延びた方です。心優しい人で、奥さんに会いたい、帰りたい一心で生き延びたのです。畑の小屋で見つけた赤ちゃんを寝せるための夜具、喉から手が出るほど欲しい夜具、でもそれを取れば、お母さんが困るだろうと、盗むことができなかった人です。

劉連仁さんは、日本を去る時、日本政府の責任は問わないと言っていたけれど、政府の態度が余りに悪かったので、やはり訴訟を起こしました。はじめは画期的な判決と報じられたのは、「日本政府は2000万払え」と言われ、劉さんが勝訴したのです。でも控訴審で敗訴でした。

福政康夫さん

福政康夫さんを知ったきっかけは、投書です。広島県北に高墓ダムがあるのですが、これは韓国人を何百人と拉致して作らせたのです。苛酷な労働でどんどん死んでいったのです。ちょっとでも不平を言えば、寒中、一晩中、木に吊し、死んだら埋めるのです。

木に吊るされ、アイゴー、アイゴーという声を、地元の人は何人も聞いたそうです。福政さんは、終戦後、遺骨を発掘し続け、毎年韓国に送り届け、30年目に韓国に慰霊碑を建てた方です。

福政さんも、日本の加害のことや、被害者に思いをいたす方です。例えば宇部の長生炭坑の、水非常と言われているところへも、毎年慰霊祭に行かれています。

また、日本の棄民政策で、ドミニカ共和国の土地は、塩が出て作物が出来ないのを承知で、往道楽土のように言って移民させたのです。移住した人は何十年も塗炭の苦しみにあっているわけです。何もできない土地だったから。

そこに福政さんが行って、日本政府に訴えさせて、和解金一人200万円もらったのです。慰安婦問題とは関係ないようにもみえることですが、政府の加害によって、被害を被る人への思いは同じ根っこなのです。

右翼の台頭

ここに

「日本の名誉を守るために安倍首相は闘え」(渡辺昇一著)

「日本を貶め続ける河野談話という悪霊」(桜井よし子著)

という二つの記事のコピーがあります。桜井よし子は大右翼、安倍さんとおなじく、憲法を変えたくてたまらない人。平気でウソを言う人です。実際現地に行きもしないで、南京大虐殺はでっちあげだと言う。慰安婦問題でも、被害者には直接会ってもいないのです。はじめから中国や韓国を蔑視しているのです。

関釜裁判

1998年に「関釜裁判」というのがあるでしょう(年表を示す)。その時テレビで「画期的な判決」だと報じたのです。

この裁判は、慰安婦10名が下関で訴えたのですが、判決で事実を認め、3人だけに30万円拂えというものでした。全員にひとり何千万かの賠償金を払ってもいいのに、何が画期的かと思いました。

この裁判でも、最後は棄却されるのですから、司法まで国に迎合です。

教科書問題

教科書から慰安婦の記述を削除というのがありましたけれど、これら加害の事実は、載ったり載らなかつたりの繰り返しですよ。

というのが、「教科書に真実を」と家永教科書裁判で勝訴したので、載るようになったのです。南京大虐殺も慰安婦のことも。そのとたん、「自虐史観」を唱えて「新しい歴史教科書をつくる会」を立ち上げた安倍さんや藤岡信勝らが反対するのです。この侵略美化

の教科書は、はじめは採用率は0.1%ぐらいだったのに、今はずいぶんふえていますね。戦争を美化するような、こんな教科書で学んだら、昔私が軍国少女だった頃に帰るような気がします。

自虐史観：戦後の歴史観が、自国の歴史の負の部分のことさら強調する一方で、正の部分を過小評価し、日本を貶めるものであると主張する歴史観。(Wikipedia から)

慰安婦問題からだけ見ても、安倍さんを首相の座から降ろさねば、日本の未来は開けないと思います。

「従軍慰安婦はどここの国でもあった。戦争は命がけでやるんだから、そういうのはどここの国でもあった」という人があるけれど、例えばアメリカがヨーロッパでやったとか、ナチスがロシアやフランスでやったというのは聞かない。ユダヤ人の虐殺は聞くけれど、性的なああいうのはあまり聞かない——出席者発言。

「近代国家の軍隊で戦場まで慰安婦をつれていったのは日本軍だけだった・・・」(『一億人の昭和史』の「“日本陸軍が開設した”慰安所」解説全文を藤村が読み上げた)

配布資料

「私が慰安婦問題を知ったのは」 藤村のお話しの要項 手書き A4 コピー1枚

「従軍慰安婦問題の経緯」藤村自作の年表 1990.6～2015.12 A4 4枚コピー

「元従軍慰安婦らの証言」ワープロ文書コピー A3 4枚。これは「沖縄の会」が韓国へ行って聞いたことを本にしたもの。藤村も同行して聞いた。

「元日本軍兵鈴木良雄」ほかの回想談の記録など。A3 5枚コピー

自分が強姦したという元日本兵士の証言。金学順など慰安婦の回想記も入っている。

「日本の名誉を守るために安倍首相は闘え」渡辺昇一著 A4 6枚コピー (WiLL-2007年8月増刊) これは右翼が書いたものだが、アメリカのほうの方が正しく日本を理解していると思われるところがある。

「日本を貶め続ける“河野談話”という悪霊」桜井よしこ著 A4 5枚コピー (WiLL-2007年8月号増刊) 桜井よしこが「河野談話」を批判している。

「“日本陸軍が開設した”慰安所」『一億人の昭和史』不許可写真集 第10巻 毎日新聞社編・発行 1977 p.62-63 A3 1枚コピー 「聖戦大勝の勇士大歓迎」「身も心も捧ぐ大和撫子のサーヴィス」の垂れ幕のある、昭和13年に軍が開設させた初の民営慰安所の写真など掲載。

意見交換

河井 「河野談話」(1993)の主要部分を読み上げる。「今次調査の結果、長期にかつ広範な地域にわたって慰安所が設置され、数多くの慰安婦が存在したことが認められた・・・旧日本軍が直接或いは間接にこれに関与した。慰安婦の募集について・・・甘言、強圧による等・・・官憲等が直接これに加担したこともあったことが明らかになった・・・当時の軍の関与のもとに、多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題である。・・・政府は・・・心身に癒しがたい傷を負わされたすべての方々に対し心からお詫びと反省の気持ちを申し上げる・・・」(官房長官 河野洋平) (WikiPediaによる)



今朝の朝日新聞に、日韓合意の説明をしたら、29人のうち評価したのは半数に満たない14人だったという記事がある。残りは拒否したか無回答かだろう。(2016.5.14)

藤村 「アジア女性基金」に対し、従軍慰安婦の人たちは、私たちは乞食ではない、日本政府に謝ってもらいたいのだと言った。政府がしたことなのに、民間に責任をなすりつけるようなものだ。

藤川 年表の去年12月に「最終的かつ不可逆的に解決し」たとある。安倍さんはいつもこういう。振り返って反省はしないということだ。

藤村 いつまでも言い続けなければいけないということだ。

井原 共同研究をして、これが歴史的事実だということをもとに議題にむかっていくことが必要だろう。共通認識をもたなければいけない。



河井 どっちが正しいかわからないにしても、南京事件や慰安婦問題について、日中・日韓共同の研究所を設置して、共通認識を得ることがまず必要であろう。

井原 個人の研究だけでなく、韓国と日本の合同の公的な研究所で研究するのではないと。

河井 公的な研究所で直接関係者や個人研究者が証言するようになるとすばらしい。

白木 南京事件でもそうだが、事実がどうだったかが、わからない。確かな事実にもとづいて議論しないといけない。

藤村 南京でも、いろんなところで何十人、何百人と虐殺され、その碑がある。長江の方へつれて行って一斉に銃殺し、河が血の海になったという。「これは今日発掘した骨」

というのが展示してある。南京へ行ってみたら、何があったかということはよくわかる。わからない人は、桜井よしこ氏のように行かないで議論しているのだろう。

井原 南京事件でも慰安婦でも、あったことは多分認めざるをえないことになっているのだろう。被害者の数はそんなに多くはないというが、数の問題ではない。実際にあったということは事実だということから出発しなければならない。強制でなかったということ逃げ道にしているが、戦争中だから、常識で判断してわかる。



河井 いろんな事実が語られているが、それらを公の研究所が全部あつめて、1冊（または数冊）の本にして、どこまでが真実であるかを研究することが必要だ。

中尾 被害者はもう 90 になっていると思う。生存する人はすくなかろう。パククネ氏と話し合いして、たったの 10 億円でしょう。それっぽっちでは救済できない。

河井 死んだ人には賠償しなくてもいいことになる。それじゃ死ぬのを待てばいいということになる。遺族に賠償金を払うということも必要だ。

中尾 そういう制度を作るべきだ。なくなった人は補償しないという問題ではない。日本へいったら高等女学校に行かせてやるといわれ、親の反対もきかずに募集に応じたら、台湾へつれていかれ、妊娠しない手術をされ、そのあとは名前ではなく番号で呼ばれ、インドネシアへつれていかれた。反対すると注射を打たれる。団結して拒否すると、みんなを集めて日本刀でひとりの首をきりおとした。戦後は両親は自殺、家は荒廃していた。そういう本を読んだ。うそだ、本当だという問題ではない。それを日本政府はうそだ、などと言っている。情けない。ドイツ首相が強制収容所で膝まづいてあやまった。それだけでポーランドはドイツを許した。まごころというのは大事だと思う。

藤村 台湾で登校中の女の子の一人がジープにのせられ、そのまま南方につれていかれたという話をきいた。横田めぐみさんと同じだ。両親は娘が帰ってこないが、どこへいったのじゃろうかとあわてる。そういうふうにして連行された。

河合 戦前の国際法には、女性虐待を禁止するような法規はないのか。

藤村 何重にも国際法違反なのだ。



天野 大東和共栄圏のなかで慰安婦問題もおこった。日本は侵略として認めないが、アジア諸国の人たちからすれば明らかに侵略で、日本はそれを認めることが必要だ。安倍首相がやっていることはヒトラーと全くおなじ。すばらしいワイマール憲法がヒトラーによって踏みにじられた。経済政策と、隣国を侵略する外交政策、それとマスコミ操作。今安倍がやっていることと一緒だ。株式操

作まで国策でやっている。日銀を抱き込み、NHK と日銀総裁を握りしめた。大事なポストは安倍のお気に入り配置する。従軍慰安婦でも、日本が朝鮮や中国をばかにしてい

たことの表れだ。江戸時代から培われた、名もなき民が国を支える。お上にさからわな
いから国はやりやすい。だから政治がそだたない。政治的に国民が鈍感。日本は原爆被
爆者の国というが、日本がアジアを侵略したことは認めない。それでは国際的に評価さ
れない。やられたことは言うけれど、やったことは贖罪しない。その矛盾にも気づいて
いない。その鈍感さがたまらなく嫌だ。

河井 私は日本史を教えたが、明治のはじめまでで、大正・昭和の現代史を教えなかつ
た。私の頭のなかにも現代史は入ってなかった。これをお詫びしなければならない。

天野 現在は違う。現代史をちゃんと教えている。

井原 ドイツは、ナチスが誤ったことをしたという認識から、戦後が出発したと思う。日
本の政治家や権力者は、戦時中の日本が間違っただけを認めていない。昔の体制を維持し
ようとしている。敗戦を認めないで、前の体制を残していこうと
いうのが安倍氏たちのやりかただ。敗戦をみとめない、という本が売れた。なぜ侵略戦
争を認めないのかというと、自分たちの権力構造を維持するために認められないのだ、
という方がいた。普通の人には、侵略戦争をして間違っただけをして、負けたのだという考
えをもっていると思う。権力者はそれを認めたくないのだろう。戦後も、日本の統治機
構を温存しながら、占領政策を推進して戦後の日本をつくっていった。残された権力者
は敗戦ということを受けたくない。ナチスのように切ってしまうようだ。アメリカ
に助けられたから、アメリカにはさからえない。逆にアジアは見下げていく。日本はた
いへんなことをやってしまったのだ、という認識がない。

河井 戦後に岩国駅のあたりに歓楽街があった。あれは米軍が作ったのか。日本政府が作
ったのか、民間のものだったのか。日本のように、軍が慰安所を作ることはしていない
のじゃないか。今は慰安所に相当する場所は、岩国には全くないのか。(岩国市の『岩
国市史』の「通史編」は「2 近世」までしか刊行されていない。「史料編3・2 近代・
現代」、その他にも関連資料はみあたらなかった)

井原 でも相手がやったから日本もいいのだという議論はなりたたない。自分たち日本が
やったことがよくなかったということが大事なのだ。橋下氏などはどこでもやっている
というが、そんなものではない。責任とるべきことははやくとらないと、中尾さんのい
うように過去のことになってしまう。

河井 それも国と国との賠償か、日韓合同でするのがいいのか、日本政府が被害者個人に
する賠償か。

井原 それはもちろん一人ひとりにたいして。

藤村 韓国や中国へ行ったとき、慰安婦の故郷の家族から、まだ帰ってこないのだが、ど
うぞ連れて帰ってくれ、といわれた。まだそういう人が残っているのだ。

河井 それは現在も残っている大きな課題で、早く実数、実態を調べる必要がある。

藤村 朝鮮から樺太へ強制連行した人が、今もたくさんいる。

中尾 岩国にも強制連行して愛宕山にトンネルを掘る工事をさせ、なくなった人で、ここ
のお寺に葬られている人もある。その遺族と思われる若い女の人が愛宕山集会にきた。

討論参加者（逆 50 音順）

藤村英子	周防大島町下田
藤川俊雄	岩国市平田
中尾友俊	周防大島町森
白木茂美	岩国市平田
河井弘志	周防大島町日前
河合建夫	周防大島町西安下庄
井原勝介	岩国市今津町
天野一博	岩国市牛野谷町

市民自らの政策を持とう！

世話人 河井弘志

742-2804 山口県大島郡周防大島町日前 1039

0820-73-0198